

びょうき ケガ 妊娠 出産 … あか 赤ちゃんの よぼうせっしゅ 予防接種 どうする？

がいくご しんさつ う
外国語で 診察を 受けたい

とっかつ こくさいいりょうじょうほう
(特活)AMDA国際医療情報センター

がいくご しんさつ う びょういん を おし
外国語で 診察を受けられる 病院などを 教えてもら
えます。日本の 医療や 福祉のこと(Medical and
Welfare systems in Japan)を 説明してくれます。(8言語)
センター東京: (03) 5285-8088 <http://amda-amic.com/>

いしゃ
「かわさきの お医者さん」

がいくご しんさつ う びょういん を
外国語で 診察を受けられる 病院を
調べる事が できます。(川崎市にある病院)
<http://www.iryu-kensaku.jp/kawasaki/>
(サイト右下に 多言語ページが あります。)(6言語)



びょういん つうやく
病院で 通訳を してほしい

とっかつ たげんごしゃかい みっく
(特活)多言語社会リソースかながわ MICかながわ

かながわけん びょういん つうやく はけん
神奈川県にある 病院に 通訳ボランティアを派遣して
います。(11言語)
はけん びょういん きょうていびょういん
派遣できる 病院 (協定病院 affiliated hospitals)は
き 決まっています。 通訳が 必要な時は 病院に
相談してください。
でんわ 電話: (045) 314-3368
<http://mickanagawa.web.fc2.com/>



びょういん うけつけ こま うけつけひょう
病院の 受付で 困った 受付票(registration form)、
もんしんひょう
問診票 (medical questionnaire)がわからない…

こうざい こくさいこうりゅうざいだん
(公財)かながわ国際交流財団

ほうじんこくさいこうりゅう こうなんだい
NPO 法人国際交流ハーティ」港南台

たげんごいりょうもんしんひょう げんご
多言語医療問診票 (18言語)

<http://www.kifjp.org/medical/>

こうせいろうどうしやう
厚生労働省

がいくしんむ たげんごせつめいしりょう げんご
外国人向け多言語説明資料(explanatory materials) (5言語)

<http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuitebunya/0000056789.html>

あか こ よぼうせっしゅ
赤ちゃん・子どもの 予防接種(vaccination)について 知りたい

こうざい よぼうせっしゅ
(公財)予防接種リサーチセンター

よぼうせっしゅ こ けんこう げんご よしんひょう げんご
「予防接種と子どもの健康」(5言語) 「予診票」(14言語)

<http://www.yoboseshu-rc.com/publics/index/8/>

がいくご ぼしてちやう ほ
外国語の母子手帳が 欲しい

かぶ ぼしほけんじぎやうだん
(株)母子保健事業団

がいくごぼしほけんじぎやう げんご
外国語版母子健康手帳(9言語)

<https://www.mcfh.co.jp/faq/purchase/en>



Answers to the quiz(P6): (All topics were studied in evening classes)
 • He was an architect that designed buildings using traditional Sri Lankan design but modern features
 • It is a hand-held drum
 • Steve Biko's struggle against apartheid in South Africa

質問(P6上)のこたえ: (このようなテーマを講座で勉強しました)

- ・スリランカの伝統を現代的なデザインと融合させた建築家
- ・手持ちのドラム
- ・南アフリカの Apartheid に立ち向かったスティーブ・ビコの実話

【編集後記】 Editor's note

川崎市国際交流センターの広場で、子どもたちや親子連れが陽射しを浴びながら過ごしている姿を見かけると、この塀も壁もない自由な雰囲気の良い場を嬉しく思います。毎年7月の「インターナショナル・フェスティバル」では、この広場はゲームや催し物に参加する外国人・日本人の子どもたちで大にぎわいになります。

少子化・核家族の時代といわれて久しく、「子育てが難しい」とも耳にしますが、本来子は宝。子どもの無垢な笑顔には本当に癒されます。さまざまな人が「川崎の子育て」に参加し、温かい眼差しで子どもたちを見守れたらと願っています。
(編集ボランティア: 福地直子)

SIGNALはボランティアの協力による季刊誌です。
 本誌に対するご意見・ご感想がございましたら、
 ぜひ、FAXやE-mailでお聞かせください。
 FAX:044-435-7010
 E-mail:kiankawasaki@kian.or.jp



公益財団法人川崎市国際交流協会 検索

発行 川崎市国際交流センター

〒211-0033川崎市中原区木月祇園町2番2号
 TEL 044-435-7000 FAX 044-435-7010
 E-mail:kiankawasaki@kian.or.jp
<http://www.kian.or.jp/kic/>

本誌記事の転載等については必ずご連絡ください。